

スカラネット・パーソナル利用規約

■ 目的

第 1 条 本利用規約（以下「本規約」という。）は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「本機構」という。）が運営するスカラネット・パーソナル（以下「本システム」という。）の利用に関し、本システムの利用者が遵守すべき事項等を定め、本システムの適切な利用及び運用に資することを目的とします。

■ 定義

第 2 条 本規約で使用する用語の定義は、以下の各号のとおりとします。

- (1) 「本システム」とは、本機構が提供する「スカラネット・パーソナル（スカラネット PS）」という名称のシステムを意味します。なお理由の如何を問わずシステムの名称、ドメイン又は内容が変更された場合は、当該変更後のシステムを含みます。
- (2) 「システム利用者」とは、第 3 条（登録）に基づいて本システムの利用者としての登録がなされた奨学金利用者（奨学金の貸与を受けている者及び奨学金の貸与を受けた後に返還している者をいう。以下同じ。）本人を意味します。
- (3) 「登録申請者」とは、第 3 条（登録）に基づいて本システムの利用を目的とし登録申請を行う奨学金利用者本人を意味します。

■ 登録

第 3 条 本システムの利用を希望する者（以下「登録希望者」という。）は本規約を遵守することに同意し、かつ本機構の定める一定の情報（以下「登録事項」という。）を本機構の定める方法で本機構に提供することにより、本機構に対し本システムの利用の登録を申請することができます。

2 本機構は、第 1 項に基づいて登録申請を行った者（以下「登録申請者」という。）の登録事項について本機構で保有する情報と照合し一致する場合に、システム利用者としての登録を行います。システム利用者としての登録は、ユーザーID、パスワードの登録が行われたことを以って完了したものとします。

3 前項に定める登録の完了を以って、本規約がシステム利用者とは本機構の間に成立するものとし、本規約成立後、システム利用者は本システムを本規約に従い利用できるようになります。

4 本機構は、登録申請者が以下の各号のいずれかの事由に該当する場合は、登録及び再登録を拒否することがあります。

- (1) 本機構に提供した登録事項の全部又は一部につき虚偽、誤記又は記載漏れがあった場合
- (2) 登録申請者が過去に関係法令及び本機構が定める各種規程等に違反した者又はその関係者であると本機構が判断した場合
- (3) 第 9 条に定める措置を受けたことがある場合
- (4) その他本機構が登録を適当でないと判断した場合

■登録事項の変更

第4条 システム利用者は登録事項に変更があった場合、本機構の定める方法により当該変更事項を遅滞なく本機構に通知するものとします。

■ユーザーID 及びパスワードの管理

第5条 システム利用者は自己の責任において、本システムに関するユーザーID 及びパスワードを適切に管理及び保管するものとし、これを第三者に利用させ、又は貸与、譲渡等をしてはならないものとします。

2 システム利用者のユーザーID 及びパスワードの管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用、アプリケーションサービスへの登録先からの漏えい等に起因するユーザーID 及びパスワードの漏えい等によって生じた損害に対する責任はシステム利用者が負うものとし、本機構は一切の責任を負わないものとします。

■禁止事項・使用制限

第6条 システム利用者は本システムの利用に当たり、次の各号に掲げる行為又はいずれかに該当すると本機構が判断する行為を行ってはなりません。

- (1) 本システムをシステム利用者本人に関する貸与・返還情報の閲覧、各種願・届等提出以外の目的で利用すること。
- (2) 本システムに対し、第三者のサーバーを経由するなど、不正にアクセスすること。
- (3) 本システムのネットワーク又はシステム等に過度な負荷をかける等により、本システムの管理及び運営を妨害すること。
- (4) 本システムに対し、ウイルスに感染したファイルを送信すること。
- (5) 虚偽の願・届等の提出を行うこと。
- (6) 法令若しくは公序良俗に違反する行為又はそのおそれのある行為をすること。
- (7) 本システムの運用に支障を及ぼす行為又はそのおそれのある行為をすること。
- (8) その他本機構が不適切と判断する行為

■本システムの停止等

第7条 本機構は、次の各号のいずれかに該当すると認められる場合、システム利用者に事前に通知することなく、本システムの全部又は一部の提供を停止、休止又は中断することができるものとします。

- (1) 本システムを構成する機器等の保守・点検作業を緊急に実施する場合
- (2) 地震、落雷、火災、風水害、停電、天変地異などの不可抗力により本システムの運営ができなくなった場合
- (3) コンピュータ、通信回線等が事故により停止した場合
- (4) 本システムの安定利用が困難と本機構が判断した場合
- (5) その他本機構が本システムの利用の停止、休止又は中断が必要と判断した場合

■ 権利帰属

第 8 条 本機構ウェブサイト及び本システムに関する知的財産権はすべて本機構及び本機構にライセンスを許諾している者に帰属しており、本規約に基づく本システムの利用許諾は本機構ウェブサイト又はシステムに関する本機構又は本機構にライセンスを許諾している者の知的財産権の使用許諾を意味するものではありません。

■ 登録抹消

第 9 条 システム利用者が以下の各号のいずれかの事由に該当する場合は、事前に通知することなく当該システム利用者について本システムの利用を一時的に停止し、又はシステム利用者としての登録を抹消することができます。

- (1) 本規約のいずれかの条項に違反した場合
- (2) 登録事項に虚偽の事実があることが判明した場合
- (3) 第 3 条第 4 項各号のいずれかに該当する場合
- (4) システム利用者が奨学金（複数の奨学金を利用している場合は全ての奨学金をいう。）の返還を完了（本機構に対する債務がなくなることをいう。）した後 5 年以上経過した場合
- (5) その他本機構が本システムの利用、システム利用者としての登録、又はシステム利用契約の継続を適当でないと判断した場合

■ 本システムの内容の変更、終了

第 10 条 本機構は本機構の都合により本システムの内容を変更し、又は提供を終了することができます。本機構が本システムの提供を終了する場合は、本機構はシステム利用者事前に通知（本システムによる掲示を含む。）するものとします。

■ 免責事項

第 11 条 本機構は、システム利用者が本システムを利用したことにより発生したシステム利用者自身の損害について一切の責任を負わないものとします。

2 本機構は、本システムの利用の停止、休止、中断若しくは制限又は通信回線の障害等により発生したシステム利用者が被った損害について一切の責任を負わないものとします。

3 本機構は、システム利用者自身が管理する I D・パスワード等が第三者により不正に利用されたことにより発生したシステム利用者自身が被った損害について一切の責任を負わないものとします。

4 前 3 項の規定は本機構に故意又は重過失が存在する場合には適用しないものとします。

■ 個人情報の取扱い

第 12 条 本システムにおける個人情報の取扱いに関する基本的事項は、別途本機構が定める個人情報保護規程（平成 17 年 3 月 23 日規程第 7 号）のとおりとします。

■ 利用規約の改正

第 13 条 本機構は、必要があると認めるときは、システム利用者への事前の通知を行うことなく、本規約を改正することができるものとします。

2 本機構は、本規約の改正を行った場合には、遅滞なく機構ホームページ等に掲載し、過去の利用規約を含め公表するものとします。

3 改正した規約の公表後にシステム利用者が本システムを利用したときは、改正した規約に同意したものとします。

■ 準拠法及び管轄裁判所

第 14 条 本規約の準拠法は、日本法とします。

2 本システムの利用に関して本機構とシステム利用者間に生ずるすべての訴訟については、東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

■ 附則

本利用規約は、平成 28 年 9 月 10 日から施行する。

平成 28 年 8 月 26 日制定